

原点を見直す大切さ

気になることがある。教室に、まるめられたプリントが落ちていた。ぼくがひろうのは、1日1回ではすまない。受験に集中するこの時期だからこそ、学校生活の基本を改めて見直す必要がある。

「時・場。礼」

である。

時

「時間は平等である」。4月はじめの山本先生の言葉を覚えているか。確かにそのとおりだが、時間の使い方は、人によってちがう。チャイムが鳴り始めて、全員が着席するまで1分ほどかかることがある。1日6分のムダ、1週間で30分、1か月で2時間をムダにすることになる。もったいない。チャイム前に全員が着席して、勉強を始める学校があると聞く。

場

教室にころがるゴミ。それは何を意味するか。教室の中に、心ない人がいるということ。もうひとつ。それをひろう、心ある人がいないということ。かなしい。ひろってくれている人もいるだろう。ありがとう。

礼

面接練習の初日、校長先生から「礼がきちんとできていない」とアドバイスをいただいた。その原因は何か。頭を下げる角度、姿勢の問題か？確かにそれもあろうが、もっと大切なのは、心がまえではないか。授業の礼で「お願いします」「ありがとうございました」という気持ちをこめて、あいさつをしているか。その気持ちがあれば、自然と背筋がのびてくるはずだ。



私学出願説明会 1月19日(火)15:30～ 北館1階多目的室1

出願の手続きについて、説明します。私立高校受験者は遅れないように。

チェック！

1. 中学校から高校までの行き方がわかる。YES or NO
2. 中学校から高校までの交通費がわかる。YES or NO
3. 出願は受験に関係ない。YES or NO

